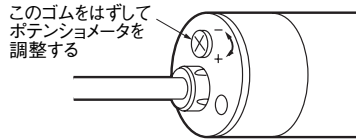


形E2K-C

感度調整

- 近接センサ後部のゴムキャップをはずして、付属の調整用ドライバで奥のポテンシオメータを回転させ、次の要領で行ってください。
(形E2K-C20M□□にはゴムキャップが付いておりません。)



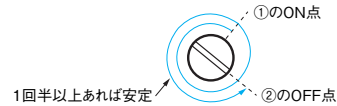
- ポテンシオメータは右にまわすと検出距離は大きくなり、左にまわすと小さくなります。調整回転数は 15 ± 3 回転ですが、右あるいは左へいっぱいまわしてもポテンシオメータの回転はストップせずに空転します。このためまわしすぎても破損の心配はありません。
- ① 検出物体が無い状態でポテンシオメータをゆっくり右回転させ、近接センサがONする時点で止めます。



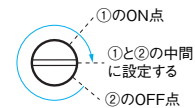
- ② 次に①の状態のまま、検出物体が近接している状態でポテンシオメータを左回転させ、近接センサがOFFする時点で止めます。



- ③ ①のON点と②のOFF点とのポテンシオメータの調整回転数が、1.5回転以上の差があれば安定に検出できます。1.5回転以下ですと動作が不安定になります。



- ④ ポテンシオメータの位置を①と②の中間で止めて感度設定は完了です。



- ⑤ 近接センサと検出物体の間隔が一定でない場合、②の操作は間隔が一番長い位置で行ってください。

形E2K-F

感度調整

取り付けた状態で下記になるように感度調整ボリューム(12回転ボリューム)を調整ください。

検出物体を設定位置に合わせた時の表示灯の状態	感度調整ボリューム	調整手順
消灯している時		ドライバにて感度調整ボリュームを左に回転させ、表示灯が点灯するまで回転させ、点灯すれば感度調整完了です。
点灯している時		ドライバにて感度調整ボリュームを右に回転させ、表示灯をいったん消灯させて、それから左に再度回転させ、表示灯が点灯するまで回転させます。点灯すれば感度調整完了です。

注. 感度調整時は手などをセンサ本体に添えないでください。また、コードは完全に固定しておいてください。検出レベルがずれる原因になります。